
平成 2 3 年度

熊本県文化企画課松橋収蔵庫活動報告

熊 本 県

目 次

1 展示活動

- (1) 文化企画課松橋収蔵庫企画展示 4
- (2) 館外（移動）展示 2 1
- (3) その他の展示 2 3

2 学習支援活動

- (1) フィールドミュージアムへ飛びだそう！ 2 5
- (2) 熊本を知る講座 2 9
- (3) 「くまもと自然と文化の学芸員」養成講座 3 1
- (4) 他団体との共催講座 3 5
- (5) キッズミュージアム 3 5
- (6) バックヤードツアー 3 6
- (7) 移動体験教室及び講師派遣 3 6
- (8) 博物館実習、職場体験等 3 7
- (9) ミュージアムパートナーズクラブ 3 8

3 資料収集整理活動

- (1) 各分野の資料収集、整理状況 3 9
- (2) 資料貸出等 4 4

4 情報発信

- (1) 熊本の自然と文化～松橋収蔵庫だより～ 4 5
- (2) 企画展示図録 4 6
- (3) 収蔵資料目録 4 6

5 資料

- (1) 平成23年度職員 4 7
- (2) 文化企画課松橋収蔵庫平面図 4 8
- (3) 熊本県文化企画課松橋収蔵庫資料利用要項 4 9
- (4) 熊本県文化企画課松橋収蔵庫の団体利用要項 5 6
- (5) 学校・社会教育団体等への講師派遣要項 5 9

1 展示活動

(1) 文化企画課松橋収蔵庫企画展示

① ふしぎな鉱物の世界（平成22年度第5回企画展）

- ・開催期間 平成23年3月1日～5月14日
- ・観覧者数 190人
- ・展示趣旨

私たちが生活する地球は岩石でできており、その岩石は鉱物が集まってできている。また、鉱物は人間の生活に欠かせない鉄や銅、レアメタルのような金属などの物質の原材料でもある。このように鉱物は私たちの身近に存在し、また、生活に深くかかわっている。しかし、鉱物というものがどのようなもので、どのような姿・形をしているかはあまり知られていない。松橋収蔵庫には、熊本大学工学部から寄贈された鉱物標本をはじめ、様々な鉱物標本が収蔵されている。そこで、

3つのテーマに沿って、松橋収蔵庫に所蔵されている鉱物標本を使い、鉱物の本来の姿やその利用などについて展示紹介した。

・展示構成と主な展示資料



1 鉱物ってなんだろう？

① 鉱物とは

岩石と鉱物の関係や鉱物の定義について解説。

＜主な展示資料＞

かこうせんりよくがん

花崗閃緑岩、石英(水晶)、正長石、黒雲母、

かくせんせき

普通角閃石

② 化学組成による分類

鉱物の種類を決める要素の一つ、化学組成によるグループ分けについて解説し、グループごとに展示。

＜主な展示資料＞

自然砒^ひ、黄鉄鉱、螢石、輝安鉱、赤銅鉱、孔雀石、重晶石、スコロド石

③ 結晶系（結晶のタイプ）による分類

鉱物の種類を決めるもう一つの要素である、結晶系について解説し、結晶系のグループごとに展示。

＜主な展示資料＞

鉄ばんざくろ石、スピネル、魚眼石、天青石、緑柱石、十字石、斧石、曹長石

④ なぜ同じ化学組成でちがう結晶構造になるのか

鉱物の結晶構造がもつ物理(圧力・温度)・化学(化学組成)的に安定な領域及びその結果生じる多形(同質異像)について紹介。

＜主な展示資料＞

石英(水晶)、高温型石英、^{りんけいせき}鱗珪石、クリストバル石

⑤ 鉱物のかたち(外形)、割れ方(劈開^{へきかい})、光の通り方(屈折)

鉱物が持つ様々な特徴のうち、見た目の形や割れ方、光の屈折について紹介。

＜主な展示資料＞

石英(日本式双晶)、^{きんせいせき}堇青石(桜石)、方解石、^{あられいし}霰石、白雲母、トパーズ

⑥ 鉱物の硬さ(モース硬度)、重さ(比重)

鉱物が持つ様々な特徴のうち、硬さに関するモース硬度と重さに関する比重について紹介。

＜主な展示資料＞

滑石、正長石、^{りんかいせき}磷灰石、トパーズ、コランダム、ダイヤモンド、石墨、自然金

⑦ 鉱物の色(外観色、条痕色)、光沢

鉱物が持つ様々な特徴のうち、見た目の色(外観色)と鉱物の実際の色(条痕色)と光沢の種類について紹介。

＜主な展示資料＞

石英(水晶、紫水晶、煙水晶)、赤鉄鉱、^{せんあえんこう}閃亜鉛鉱、^{ようろうせき}金雲母、葉蠟石、自然硫黄

⑧ 蛍光

鉱物が持つ様々な特徴のうち、紫外線をあてると光る蛍光について紹介。

＜主な展示資料＞

螢石、^{かいじゅうせき}灰重石、方解石、珪酸亜鉛鉱、ゾイサイト、ハイドロジンサイト

⑨ 磁性

鉱物が持つ様々な特徴のうち、磁性について紹介。

＜主な展示資料＞

磁鉄鉱



⑩ 鉱物と宝石、鉱石の関係

間違えられやすい、鉱物と宝石、鉱石の違いについて紹介。

＜主な展示資料＞

キースラーガー、金鉱石、黒鉱、石炭

2 生活の中の鉱物

鉱物は日常生活の中で、重要な役割を果たしている。銅や鉄などの金属をはじめ、私たちの生活で使用されている様々な元素は、鉱物から採取されているものが多い。また、鉱物の性質を利用したクォーツ時計や、絵の具や化粧品、薬、お守りなど、鉱物は日常の中で利用されてきた。



① 鉱物から元素を取り出して利用する



鉱物は生活の中で利用される様々な元素の原材料になっている。それぞれの元素の利用や、原材料の鉱物、コモンメタルやレアメタルについてなど紹介。

＜主な展示資料＞

黄鉄鉱、雲母鉄鉱、黄銅鉱、斑銅鉱、ボーキサイト、リチア雲母、輝安鉱、ポルサイト、ホウ砂、ルチル、クロム鉄鉱、自然白金、モナズ石、ゼノタイム

② 鉱物の性質を利用

石英(水晶)の振動を利用したクォーツ時計や、硬さと安定性を活かして様々な工業用品や製品に使われているコランダムなど、鉱物の性質を利用した事例を紹介。

＜主な展示資料＞

石英(水晶)、コランダム(ルビー、サファイア)、蛍石



③ 鉱物を使った絵の具

絵の具の顔料として利用されてきた鉱物、特に日本画で利用されてきた岩絵の具の顔料として利用されてきた鉱物を紹介。

＜主な展示資料＞

孔雀石、藍銅鉱、赤鉄鉱、辰砂、鶏冠石、雄黄

④ 薬や化粧品として利用される鉱物

鉱物の中には薬として利用されてきたものがある。また、化粧品の材料としても鉱物は使われている。薬や化粧品の材料として利用されている鉱物を紹介。



＜主な展示資料＞

白雲母、滑石、石英、カオリナイト、ドロマイト、重晶石、硬石膏^{こうせつこう}、赤鉄鉱

⑤ 神秘的な鉱物

鉱物は見た目の美しさや神秘さから、昔から厄除けやお守りとして利用されてきた。その中で誕生石になっている鉱物を紹介。

＜主な展示資料＞

ざくろ石、緑柱石、ダイヤモンド、ひすい輝石、オパール、ラピスラズリ

3 熊本県でみつかるとる鉱物

熊本県内には、マグマや溶岩が固まってできた火成岩、水の底などに泥や砂や礫がたまってできた堆積岩、高温の熱と高い圧力を受けて元々の岩石から別の岩石へと変わった変成岩、さらに、それぞれ古くは約4億4千万年前から、新しいものではない最近にできたものなど、できた時代も種類も様々な岩石が分布している。それに伴い、これらの岩石を構成する鉱物もいろいろな種類のものを見ることができる。



① 荒尾・玉名・山鹿・菊池地域

熊本県北部の荒尾・玉名・山鹿・菊池地域にかけての地質の説明と、この地域で見つかる鉱物を紹介。

＜主な展示資料＞

石英、正長石、白雲母、石綿、方解石、ざくろ石、バラ輝石、霰石、濁沸石^{だくふつせき}

② 阿蘇地域

阿蘇地域の地質と、この地域で見つかる鉱物を紹介。

＜主な展示資料＞

自然硫黄、褐鉄鉱、普通輝石、普通角閃石、濁沸石、霰石

③ 熊本県中央部地域

熊本県中央部、熊本・上益城・宇城（宇土半島は除く）地域の地質の説明と、この地域で見つかる鉱物を紹介。

＜主な展示資料＞

鱗珪石、藍鉄鉱、キースラーガー、アクチノ閃石、マグネサイト、コランダム

④ 熊本県南部・天草地域

熊本県南部（八代・芦北・球磨地域）及び天草地域（宇土半島も含む）の地質の説明と、この地域で見つかる鉱物を紹介。

＜主な展示資料＞

陶石、電気石、方沸石、海緑石、マンガン鉱石、方解石、碧玉、ソロバン玉石

・展示資料数 312点

・担当 打越山詩子（H22年度）、川路、廣田

② 水辺の生き物

- ・ **開催期間** 平成23年6月6日～8月31日
- ・ **協力（資料借用）** 熊本大学ダイビング部、松原茂氏
- ・ **観覧者数** 685人
- ・ **展示趣旨**

熊本県は、大変水に恵まれた県である。各地に湧水があふれ、九州山地や阿蘇に端を発する4本の一級河川は、どれも特徴的な姿を見せる。これらの水辺には、多種多様な生きものが息づいている。そして、われわれ人間も、他の生き物たちと同様にこれらの水の恩恵を受けており、これからも水無しで生きていくことはできない。

しかし、これらの水辺の生き物たちのおかれている現状は、決して安心してできるものではなく、ゲンゴロウやタガメを始め、絶滅に瀕している生物も少なくない。

今回は熊本の水辺の紹介を通して、熊本の水の豊かさに触れ、水の豊かさに感謝するとともに、水辺の生き物の現状に目を向け、水を大切にする心を育むことをねらいとした。

また、屋内だけではなく、屋外にも水槽、コンテナを配置し、生きている動植物の生態展示を行い、本物を見て触れて、より水辺の生き物を身近に感じてもらうこととした。

・ 展示構成と展示資料

1 水辺の風景

熊本県には、白川水源や池山水源など、有名な湧水地のほかにも、知られていないたくさんの湧水地がある。生きものあふれる熊本の様々な水辺の風景を紹介。

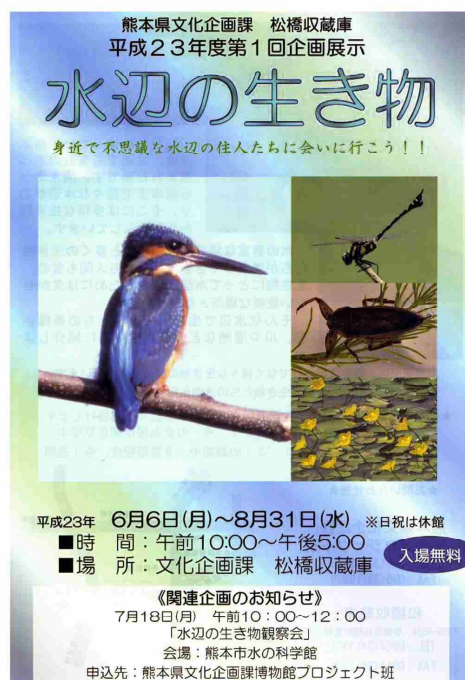
＜展示資料＞水辺の風景写真（A4をコラージュ風に100枚程度）

2 水神さん

人々は、水の恵みに感謝し、水の驚異に畏れ、水神さんを祀ってきた。各地に残る様々な水神さんを写真で紹介。

＜展示資料＞

県内各地の水神さんの写真



3 水辺の宝石トンボ

熊本県には、約100種のトンボが生息しているが、これらのトンボたちは、動物食であるため、豊かな動物相が保たれている証である。また、幼虫のヤゴが生きていけるきれいな水があるということである。トンボを通して、熊本の水の豊かさを紹介。

＜展示資料＞熊本県産トンボ標本80点、トンボの生態写真40枚



4 水辺に生きる植物

水生植物は水辺に適応した植物で、水の中で生涯を終わるもの、水底に根を張り水の上に葉や花を出して生きるもの、水に浮いて生活するものなど様々な仕組みをもって生きている。水辺の植物の適応戦略について紹介。

＜展示資料＞水辺の植物の写真23枚、水生植物の標本（9点）



5 淡水にすむ貝の仲間たち

海のイメージの貝だが、淡水にもシジミだけではなく、ドブガイやイシガイ、マツカサガイなどの二枚貝、タニシやカワニナなどの巻き貝の他、たくさんの淡水生貝類がいる。熊本に生息する淡水生貝類の多様性について紹介。

＜展示資料＞淡水生貝類の乾燥標本17点



6 淡水にすむエビ・カニ類と水生昆虫

真水の中には、カニやザリガニ、エビなどの甲殻類の他、カゲロウやカワゲラなどの小さな生きものが生きている。これらは、落ち葉や魚の死骸など水の浄化に重要な働きを持っている。これらの目立たないが大切な働きを担っている生きものについて紹介。

＜展示資料＞生態写真10枚、乾燥標本（ドイツ箱3箱、甲殻類3体、液浸標本5点、樹脂封入標本5点）



7 水辺に生きる鳥たち

水辺にはたくさんの野鳥たちが訪れる。これらの鳥類のうち、ツル類やサギ類、カモ類等、主な水鳥について剥製を展示し、生態写真と共に鳥類の多様性について紹介。

＜展示資料＞鳥類剥製25体



8 淡水の魚たち

童謡に歌われたメダカやドジョウのみならず、ドンカッチョ（ドンコ）も懐かしい響きになってしまった。これらの魚の減少は、環境の悪化のみならず、ブラックバスやブルーギルなどの外来魚によるところも少なくない。魚を通して熊本の水環境の現状を考える展示とした。

＜展示資料＞魚類の液浸標本 18 点、魚の生態写真 14 枚



9 淡水の両生類・爬虫類

水の中でしか生きられない魚から陸上に進化する過程にあるサンショウウオやカエルなどの両生類やイシガメやクサガメの他、外来種で日本のカメ類の生存を脅かすミシシippアカミミガメなどについて紹介し、これらの現状について理解する展示とした。

＜展示資料＞両生類・爬虫類の液浸標本 16 点



10 観察コーナー

展示室の一角に、実体顕微鏡やプラスチックケース標本を置き、観察したり手に取ったりできるコーナーを設けた。

＜展示資料＞トンボの生態写真 33 枚、熊本県産トンボ標本 20 点

11 屋内生態展示

収蔵庫入口から、展示室までの動線上に水槽を配置し、ゲンゴロウやタガメ、ミズカマキリ等の水生昆虫の他、タナゴやオイカワなど魚類を展示し、展示への動機付けとした。



12 屋外生態展示

標本だけでは、興味や関心を引きにくいので、水草に触れたり間近に水生昆虫を見るような仕掛けをつくり、展示を補完するとともに、より深い興味を持ってもらう場とした。

＜展示資料＞コンテナ 10 台（水稻、ホテイアオイ、ヒシ、コウホネ、クログワイ、マコモ、ガガブタ、トチカガミ他、ミズスマシ、マツモムシ他）

・関連行事

フィールドミュージアムへ飛びだそう「水辺の生き物観察会」

・担当 坂梨、免田、前田

③ ちょっと昔のくらし探検Ⅳ

- ・開催期間 平成23年9月12日～
11月30日
- ・後援 熊本県教育委員会
宇城市教育委員会
- ・協力 (一財)熊本県伝統工芸館(資料借用)
(社)熊本県蚕糸振興協力会(資料借用)
大野典子氏(機展示指導)
- ・観覧者数 1812人
- ・展示趣旨

昭和30年代後半から40年代にかけて、高度経済成長の下、機械化、電化、石油を中心とした化学製品の普及により日々の暮らしは激変した。

これほどの日々の暮らしの急変は日本人がこれまで経験したことがないものであった。昭和30年代後半から40年代まで普通に使われていた暮らしや仕事の道具の中から、小学校3・4年生社会科で取り上げられる「古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子」の単元に対応した道具を中心に紹介し、暮らしの変化を実感することを目指した。

・展示構成と主な展示資料

1 台所今昔

水道、家電製品、ガス製品の普及で台所の様子は一変した。今では簡単にできることでも昔は大変な労力が必要だった。ご飯を炊くにも竈^{かまど}に火を熾^{おこ}し、火加減を見ながら炊かなければならなかった。そんな時代の食生活に関わる道具と使い方を紹介。

<主な展示資料>

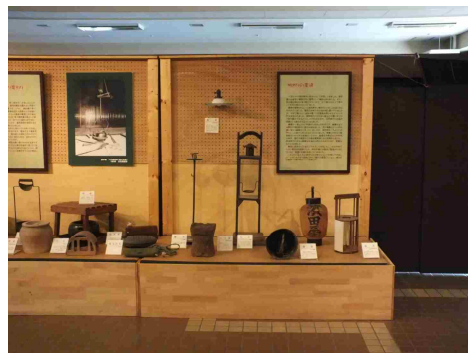
羽釜、火吹き竹、電気釜、飯びつ、箱膳、ちゃぶ台、豆腐箱 醤油瓶

2 より明るく、暖かく

オール電化の住宅では日常炎を見ることは稀であろう。そうでなくてもスイッチ一つで明るくなり、温度が調節できるのは当たり前である。しかし、昔は部屋を明るくするにも暖かくするにも火を燃やさなければならなかった。そんな時代の明かりと暖房の器具を紹介。

<主な展示資料>

燭台、行灯、提灯、ランプ、電灯、火鉢、炬燵、湯たんぽ、電気行火

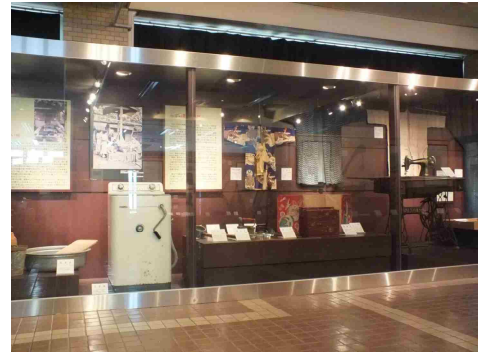


3 洗濯と裁縫

今では水道の蛇口を開けば水が出るというのは当たり前であるが、水道が普及する以前の水仕事は大変であった。井戸で水を汲み、^{たらい}盥で洗濯をした時代の洗濯と衣類に関する道具を紹介。

＜主な展示資料＞

井戸の滑車、洗濯機、炭火アイロン、足踏ミシン、^く紵け台、仕事着、ドンザ



4 着るものをつくる

昔は家族が着るものはその家の女性が手作りするのが普通だった。農家では蚕を育てたり麻や木綿を栽培して、糸取り、機織り、染め、仕立てにいたるまですべて自分たちで行ってきた。昭和30年代頃まで使われてきた養蚕、製糸の道具を紹介し、私たちの衣服に対する考え方の変化などを感じられる展示をした。

＜主な展示資料＞

桑爪、蚕籠、^{まぶしおりき}蔴折機、座繰、糸車、実繰、機

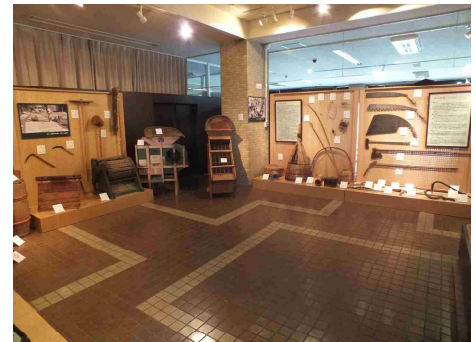


5 田畑で働く

昭和30年代後半から農業の機械化が進められ、農機具も激変した。弥生時代に稲作道具が伝えられて以来、工夫が重ねられ、改良されてきた機械化以前の農機具を紹介する。

＜主な展示資料＞

鋤、^{からすき}犁、田下駄、田植綱、ガンズメ、千歯扱き、足踏み脱穀機、箕、唐箕



6 山で働く

戦後の拡大造林期を経て、山は景観も代わり、仕事内容も機械の導入で大きく変わった。人の力で木を切り、板を切り出していた時代の山の道具を紹介する。

＜主な展示資料＞

山鋸、大鋸、切り斧、ハツリ斧、造林鎌、皮剥、^{かん}鳶口、鑊、万力爪



7 海・川で働く

漁業も機械化、大型化で大きく変わった。沿岸漁業は衰退し、獲る漁業から栽培する漁業への転換が図られている。以前の海漁、川漁の道具を紹介する。

＜主な展示資料＞

餌木、擬餌鉤、蛸壺、魚伏籠、魚籠、鰻釜、鰻
搔、鋤簾、やす

▪ **展示資料数** 162点

▪ **特記事項**

学校団体見学 18校 26回

(見学時には展示説明のほか、体験学習として天秤
棒による水運び、洗濯板による洗濯、火熨斗による
アイロンがけ、きな粉作りなどを実施)



▪ **担当** 國本、迫田



④ 鳥の楽しみいろいろ

- ・開催期間 平成24年1月4日～2月29日
- ・協力（資料借用） 下坂玉起氏、平嶋孝氏（細川流盆石）、熊本ウッディーバード倶楽部、日本野鳥の会熊本県支部
- ・観覧者数 376人
- ・展示の趣旨

熊本は、ユーラシア大陸の東側に位置し、北半球を南北に移動する渡り鳥にとって、格好の中継地となっている。また、九州の中西部に位置し、1600m前後の峰々が連なる緑豊かな九州中央山地や熊本平野、江津湖をはじめとする豊かな湧水があふれる多様な自然環境に恵まれており、多種多様な野鳥が生息している。

野鳥には多くの人を引きつける魅力があり、様々な形で人々の楽しみとなっている。バードウォッチングは既に市民権を得ており、県内各地で行われている。

また、野鳥は格好の被写体で、週末ともなると江津湖にはカワセミの姿を求めて多くのカメラの列が並ぶ。ほかにも、ビデオ撮影や録音、絵など、様々な楽しみ方がある。変わったところでは、鳥の切手の収集とか、茶席に欠かせない羽箒の研究なども鳥の楽しみ方の一つである。

このように、多くの人々に楽しまれている鳥について、その楽しみのいろいろを紹介した。そして、鳥になじみの薄かった人たちにも、バードウォッチングやバードカービングを体験してもらうことによって、新たな楽しみの一つとして野鳥を身近に感じてもらえるよう展示を行った。

・展示構成と主な展示資料

1 野鳥のいる風景

熊本県には、日本産鳥類の約60%に当たる、約300種もの野鳥が記録されており、大変貴重な生息地である。有明海や九州中央山地など、多様な環境があるため、干潟に集うシギやチドリの仲間の他、亜高山に生息するメボソムシクイなど、九州の他地域では見ることの少ない野鳥がいる。熊本県下各地の探鳥地を紹介するとともに、そこに見られる野鳥を紹介。

<展示資料>

探鳥地の風景、鳥の写真60枚



2 鳥の切手

世界には、約1万種類の鳥類が生息している。そして、多くの国では切手の図柄として発行されている。切手を見ることで、その国にいる鳥たちを知ることができる。ここでは、世界50カ国以上の国々の切手で野鳥の多様さを紹介。

<展示資料>

鳥の切手 約400点



3 鳥の巣のいろいろ

野鳥たちは子育てをするために、様々な形の巣を作る。多くの場合、雛が巣立つとともに使われなくなることが多いが、生息環境や習性を反映して、とても興味深いものがある。ここでは、主に熊本県内に生息する鳥類の巣を展示し、その多様さを紹介。

<展示資料>

鳥の巣 17点



4 羽箒^{はばうき}のいろいろ

お茶の席には欠かせないものの一つに、羽箒がある。茶席を清める働きを持つとされる羽箒にも、様々な種類が使われていたり、時代や流派による違いも見られる。奥深い羽箒の世界を紹介。

<展示資料>

羽箒 13点



5 盆石に生きる羽のいろいろ

細川流盆石は、細川三斎を流祖とする、文人の楽しみの一つである。一時途絶えたものの、再興し、文化を今に伝えている。この細川流盆石を打つ際には、多くのハクチョウの羽が使われている。盆石道具のいろいろを展示するとともに、お題「御輿来海岸」を展示した。

<展示資料>

盆石作品1点、盆石道具約60点



6 鳥の名前を持つ植物・動物のいろいろ

生物の名前（和名）には、鳥類と同じ名前を持つ種類も少なくない。鳥の持つ特有の色彩や形態は、多くの人の目を引きつけ、想像をかき立てたのであろう。そのような生物の中から、サギソウやヤマホトトギスなどの植物の他、フクラスズメ、クジャクガイ、シギノハシなどの貝類を紹介。

<展示資料> 剥製4点、貝9点、植物錯葉標本2点



7 バードカービング

木を削って、実物とそっくりのものを作るカービングは、最近の博物館では剥製に代わって展示されるほどである。これらのカービングと剥製と写真とを比べてみたらどうなるだろう。カービングの精緻な技を紹介。



＜展示資料＞バードカービング 12点、剥製 21点

8 鳥の羽のいろいろ

鳥たちは、体表面に羽毛を持っている。その数は、少ない種類で数千枚から多い種では数万枚になる。そして、その形や大きさは、体の部位ごとにすべて異なっている。初列風切り、初列雨覆、小



翼羽など、たくさんの種類の羽毛によって、体は守られ、彼らは空中を自由に羽ばたくことが出来る。これらの羽を種ごとに、また、体の部位ごとに並べた実物羽図鑑を展示した。

＜展示資料＞実物羽標本（A 4額 14枚、A 1額 2枚、B 1額 1枚、羽毛 6点）
翼剥製 1点）、剥製 2点

・関連行事

「バードカービングに親しもう」 1月21日

講師 ウッディバード倶楽部 木原正一氏他

内容 有る程度の型を作ってあるセキレイを成形した。

「クロツラヘラサギ観察会」砂川河口（宇城市）2月12日（日）

内容 砂川河口左岸で、越冬のため飛来しているクロツラヘラサギほかの冬鳥を観察した。

・担当 坂梨、免田

⑤ 熊本の祈りと感謝 ―民俗写真家の眼差し―

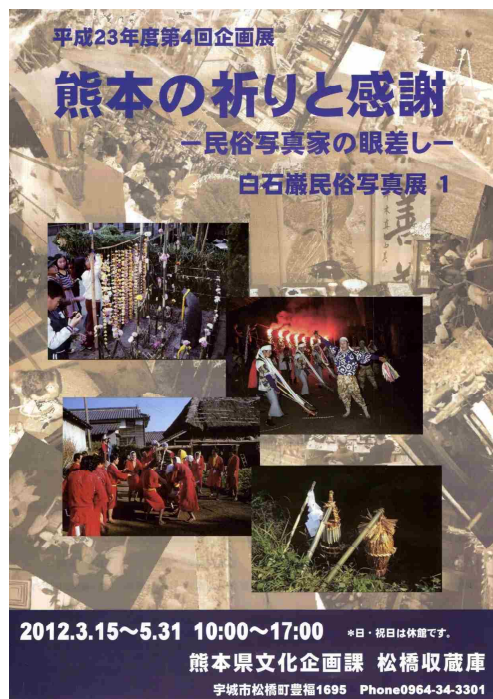
白石巖民俗写真展 I

- ・開催期間 平成24年3月15日～5月30日
- ・観覧者数 96人
- ・展示の趣旨

白石巖氏は、熊本で祭りや行事、人々の暮らしぶりなどの民俗写真を長年にわたり撮影された。平成7年に亡くなられた後、遺族の方から、白石氏が撮影された膨大な写真やフィルムと民俗調査データが県に寄贈された。白石氏の写真資料は、観光客が訪れるような有名な祭りだけではなく、地域の人々がひっそりと行ってきた各地の民俗行事を丹念に撮影していること、更に、写真だけではなく、撮影した際の民俗調査データが残されていることなど、第一級の民俗写真資料として高く評価されている。

県では、寄贈を受けて以来、写真の整理、デジタル化、資料登録を行ってきた。今回の企画展は白石氏が撮影した民俗写真のうちカラー写真についてのデジタル化、資料登録、目録作成が完了したことを機会に開催した。

私たちは正月、盆、節句などの年中行事、人が生まれてから死ぬまでの人生の節目、神社の祭礼など、さまざまな機会に豊作、豊漁や健康などへの祈りや感謝を表す祭りや儀礼を行ってきた。今回の企画展では、そのような祈りと感謝を表す写真を選び展示している。白石氏の写真を通して、熊本に暮らしてきた人々の祈りや感謝の気持ちを表現することを目指した。



<展示写真>

B1サイズ

資料名	撮影地	撮影年	記録メディア
二瀬本神楽	上益城郡山都町柏字二瀬本	1973	35mmカラーポジ
このみや踊り	菊池市玉祥寺	1974	35mmカラーポジ
なれなれなすび	山鹿市長坂	1977	35mmカラーポジ

資料名	撮影地	撮影年	記録メディア
古代楽	玉名郡南関町小原	1974	35mmカラーポジ
赤仁田の盆踊り	阿蘇市波野赤仁田	1975	35mmカラーポジ

A 1 サイズ

良町の三夜さん	熊本市良町	1977	35mmカラーポジ
八代神社田植祭	八代市妙見町	1971	35mmカラーポジ
スッキョン	八代郡氷川町宮原	1983	35mmカラーポジ
伊倉北・南八幡宮の例祭	玉名市伊倉北方	1971	35mmカラーポジ
上梅木の水神祭り	上益城郡御船町上梅木	1977	35mmカラーポジ
四十八夜大法要祭	天草市栖本町湯船原	1984	35mmカラーポジ
端午の節句の地搦き	熊本市白石町	1990	35mmカラーポジ
野原八幡宮の御田植祭	荒尾市野原	1976	35mmカラーポジ
江古尾のお座敷田植え	阿蘇郡小国町上田字江古尾	1973	35mmカラーポジ
一町田の虫追い	天草市河浦町一町田	1972	35mmカラーポジ
山鹿の精霊流し	山鹿市	不明	35mmカラーポジ
赤仁田のおとりこし	阿蘇市波野赤仁田	1976	35mmカラーポジ
芦原の地藏祭り	熊本市植木町田底字芦原	1977	35mmカラーポジ
白木の七夕綱	葦北郡芦北町白木	1972	35mmカラーポジ
下平の七夕棚	天草市深水町下平	1982	35mmカラーポジ
大浦の盆の仏壇	天草市有明町大浦	1982	35mmカラーポジ
八朔のナスビウマ	熊本市池上町	1981	35mmカラーポジ
十五夜綱引きの大草履	人吉市井ノ口町	1979	35mmカラーポジ
白梅天満宮の風神大根	熊本市細工町	1982	35mmカラーポジ
亥の子搦き	熊本市清水町麻生田	1979	35mmカラーポジ
高橋えびす祭	熊本市高橋町	1993	35mmカラーポジ
七五三	熊本市島崎二丁目 島崎教会	1965	35mmカラーポジ
杉水の節頭渡し	菊池郡大津町杉水	1983	35mmカラーポジ
早鷹天神	菊池郡大津町引水	1984	35mmカラーポジ
赤仁田の大黒さん迎え	阿蘇市波野赤仁田	1975	35mmカラーポジ
二の丸の神さん送り	熊本市海路口町	1982	35mmカラーポジ
岩本の巻天神	菊池市旭志弁利	1985	35mmカラーポジ
山王神社の甘酒祭り	宇土市花園町	不明	35mmカラーポジ

A 3 サイズ

正月	年徳棚	菊池市旭志麓字湯舟	1989	35mmカラーポジ
	蔵飾り	菊池市旭志弁利字姫井	不明	35mmカラーポジ
	サワギ	天草市本町字平床	1975	35mmカラーポジ
	臼飾り	上天草市松島町教良木	1986	35mmカラーポジ
	オニビ	宇城市不知火町松合	1983	35mmカラーポジ

	資料名	撮影地	撮影年	記録メディア
正月	鬼の骨	天草市五和町鬼池字宮津	1977	35mmカラーポジ
	ドンドヤ	熊本市二の丸	1966	35mmカラーポジ
	モグラウチ	熊本市池上町字岩本	1983	35mmカラーポジ
	シュンナメジョ	球磨郡あさぎり町上	1976	35mmカラーポジ
	ハナモチ	菊池郡大津町矢護川字新開	1985	35mmカラーポジ
	ハラメンボウ	天草市本町字平床	1979	35mmカラーポジ
	ハナマンジュウ	天草市久玉町	1977	35mmカラーポジ
	人形回し	八代市泉町仁田尾字小原	1973	35mmカラーポジ
	十五夜綱引き	菊池郡大津町大津	1984	35mmカラーポジ
カワマツリ	分田	山鹿市鹿本町分田	1973	35mmカラーポジ
	今	菊池市今	不明	35mmカラーポジ
	鹿帰瀬	熊本市鹿帰瀬町	1981	35mmカラーポジ
	山尻	熊本市弓削町字山尻	1976	35mmカラーポジ
	永	熊本市城南町永	1977	35mmカラーポジ
	陣	上益城郡御船町陣	1980	35mmカラーポジ
	西村	上益城郡嘉島町上六嘉字西村	1983	35mmカラーポジ
	辺場	上益城郡甲佐町辺場	1977	35mmカラーポジ
	吉田	上益城郡甲佐町吉田	1977	35mmカラーポジ
	小川	宇城市小川町本村	1979	35mmカラーポジ
	大野	宇城市小川町北海東字大野	1977	35mmカラーポジ
	富岡	天草市苓北町富岡	1976	35mmカラーポジ
祭り	野原八幡宮例大祭	荒尾市野原	1979	35mmカラーポジ
	藤崎宮八幡宮例大祭	熊本市	1964	35mmカラーポジ
	藤崎宮八幡宮例大祭	熊本市 辛島公園前	1964	35mmカラーポジ
	河尻神社の例大祭	熊本市八幡	1982	35mmカラーポジ
	六殿宮の大祭	熊本市富合町木原	1982	35mmカラーポジ
	おほし祭り	菊池郡菊陽町戸次	1978	35mmカラーポジ
	八代神社秋季例大祭	八代市宮地町	1965	35mmカラーポジ
	八代神社秋季例大祭	八代市	不明	35mmカラーポジ
	日奈久温泉神社秋季例大祭	八代市日奈久下西町	1969	35mmカラーポジ
	青井阿蘇神社おくんち	人吉市中青井町	1971	35mmカラーポジ
	大矢野上八幡宮例大祭	上天草市大矢野町上	1982	35mmカラーポジ
	産島八幡宮例祭	天草市河浦町宮野河内	1971	35mmカラーポジ
山の神	府本	荒尾市府本	不明	35mmモノクロネガ
	古城	菊池郡大津町古城	不明	35mmモノクロネガ
	羽仁田 1	八代市坂本町小川内馬場	1982	35mmカラーポジ
	羽仁田 2	八代市坂本町小川内馬場	1982	35mmカラーポジ

資料名		撮影地	撮影年	記録メディア
山の神	山口	八代市坂本町小川内山口	1982	35mmカラーポジ
	薨 1 (ヤコダナ)	球磨郡球磨村神瀬字薨	1982	35mmカラーポジ
	薨 2 (ヤコダナ)	球磨郡球磨村神瀬字薨	1982	35mmカラーポジ
	大岩 3	球磨郡球磨村神瀬字大岩	1977	35mmカラーポジ
	遠原	球磨郡球磨村一勝地字遠原	不明	35mmカラーポジ
	五本松	球磨郡水上村岩野字五本松	1977	35mmカラーポジ
	楠甫	天草市有明町楠甫	不明	35mmモノクロネガ
	福岡	天草市本町福岡	不明	35mmモノクロネガ

・担当 國本、迫田



(2) 館外(移動)展示

① ふしぎな鉱物の世界

- ・ **会場** 熊本県立熊本西高等学校
- ・ **開催期間** 平成23年9月11日(日)
- ・ **観覧者数** 46人
- ・ **展示概要**

企画展示「ふしぎな鉱物の世界」を、高等学校の教育課程や高等学校の会場の広さに応じて、縮小入れ替えを行い展示。

- ・ **展示資料数** 約180点
- ・ **特記事項** 熊本県立西高等学校の文化祭の一環として開催
- ・ **担当** 川路、廣田



② ふしぎな鉱物の世界

- ・ **会場** 熊本県立第一高等学校
- ・ **開催期間** 平成23年10月22日(土)
- ・ **観覧者数** 263人
- ・ **展示概要**

企画展示「ふしぎな鉱物の世界」を、高等学校の教育課程や高等学校の会場の広さに応じて、縮小入れ替えを行い展示。

- ・ **展示資料数** 約180点
- ・ **特記事項** 熊本県立第一高等学校の文化祭の一環として開催
- ・ **担当** 川路、廣田



③ ふしぎな鉱物の世界

- ・ **会場** 熊本県立菊池高等学校
- ・ **開催期間** 平成23年9月11日(日)
- ・ **観覧者数** 184人
- ・ **展示概要**

企画展示「ふしぎな鉱物の世界」を、高等学校の教育課程や高等学校の会場の広さに応じて、縮小入れ替えを行い展示。

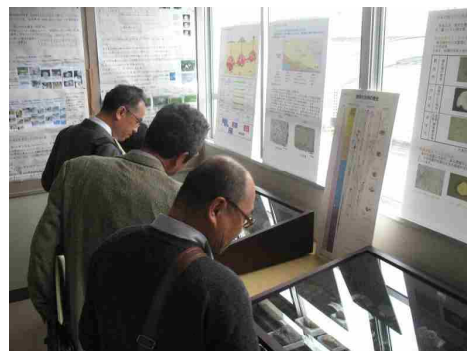


- ・ **展示資料数** 約 180 点
- ・ **特記事項** 熊本県立菊池高等学校の文化祭の一環として開催
- ・ **担当** 川路、廣田

④ 大地は語る

- ・ **会場** 熊本市立京陵中学校
- ・ **開催期間** 平成23年10月28日（金）
- ・ **観覧者数** 93 人
- ・ **展示概要**

中学校の教育課程にあわせ、火成岩や化石を説明パネルとともに展示。地学を学習する前後で教室の後に展示できるように、展示ケース2台にコンパクトにまとめた。



- ・ **展示数** 32 点
- ・ **特記事項** 九州地区理科研究大会の一環として、地学教室入り口近くに展示。
- ・ **担当** 川路

⑤ ちょっと昔のくらし探検

- ・ **会場** 熊本大学五高記念館
- ・ **開催期間** 平成24年1月4日～2月16日
- ・ **共催** 熊本大学五高記念館
- ・ **観覧者数** 492 人
- ・ **概要**

企画展示「ちょっと昔のくらし探検Ⅳ」を会場に合わせて縮小し実施。

- ・ **展示資料点数** 145 点
- ・ **特記事項**

展示作業は、熊本大学の博物館実習の授業の一環として、受講学生と一緒にいった。

- ・ **担当** 國本、迫田



⑥ ちょっと昔のくらし探検

- ・ **会場** 国指定重要文化財太田家住宅（多良木町）
- ・ **開催期間** 平成24年2月25日から3月4日
- ・ **共催** 多良木町、多良木町教育委員会
- ・ **観覧者数** 約200人
- ・ **概要**

企画展示「ちょっと昔のくらし探検Ⅳ」のうち「台所今昔」「洗濯と裁縫」「より明るくより暖かく」を、会場に合わせて縮小し実施。

- ・ **展示資料点数** 56点
- ・ **特記事項**
小学校団体見学1校
- ・ **担当** 國本、迫田



(3) その他の展示

① 収蔵庫通路スペースミニ展示

1 くまもとハイキング「馬見原へ行こう」

- ・ **展示期間** 平成22年～平成23年12月28日
- ・ **展示の趣旨**

肥後と日向の国境に位置し、日向往還を通る人々の宿場町として栄えた山都町馬見原を取りあげ、その歴史や周囲の自然を紹介した。

＜主な展示資料＞

熊本市猿渡家資料（商品発送についての古文書）

- ・ **担当** 前田、迫田、免田、打越山詩子（22年度嘱託）、木山貴満（22年度嘱託）

2 暮らしの中の鳥のたのしみ

- ・ **展示期間** 平成24年1月11日から3月14日
- ・ **展示の趣旨**

企画展「鳥のたのしみいろいろ」に関連して、鳥をモチーフとした日常雑器を展示し、モチーフとなった鳥とその意味などを、わかる範囲で解説した。

＜主な展示資料＞

皿、燭台、徳利、盃、盆

- ・ **担当** 迫田

3 収蔵庫だより紹介資料

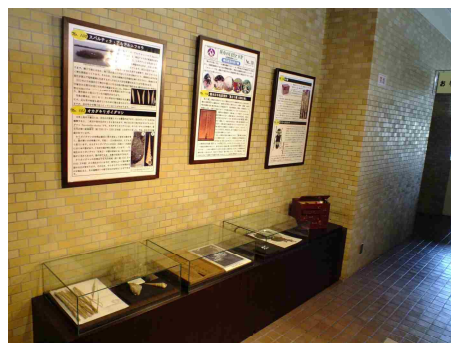
- ・ **展示期間** 平成24年3月15日から4月14日(予定)
- ・ **展示の趣旨**

収蔵庫だより19号の収蔵資料紹介で取りあげた資料の実物を展示し、収蔵庫だよりを大きく引き延ばしたパネルによる解説を行った。

＜展示資料＞

スパルティナ・アルテルニフロラ、オカダキリガイダマシ、キリガイダマシ、熊本市辛島家資料「集古十種 名物古画」：木箱上蓋と「龍図」の画像、ラミーカミキリ、ラミー、針箱

- ・ **担当** 前田、迫田、免田、廣田、上崎



② 県庁地下通路展示

- ・ **開催期間** 平成24年2月1日～29日
- ・ **展示の趣旨**

県庁利用者及び県職員に対する松橋収蔵庫施設概要及び「県民参加の博物館活動」の周知。

＜主な展示資料＞

収蔵庫資料（肥後鋤、徳富蘇峰書、貝類標本、ハヤブサ剥製、天覧石材標本）

収蔵庫での活動へ参加した県民の作品（化石レプリカ、草木染め作品等）

- ・ **担当** 田中



2 学習支援活動

(1) フィールドミュージアムへ飛びだそう！

さまざまな魅力を秘めた熊本の自然に触れ、学ぶ家族向けの観察会。

① 水辺の生き物を観察しよう

- ・日時 7月18日（月 海の日）
10:00～12:00
- ・場所 熊本市 八景水谷
（集合場所 熊本市水の科学館）
- ・講師 入江照雄氏（熊本生物研究所）
- ・参加人数 33人
- ・概要



熊本市は、湧水に恵まれた都市であるが、八景水谷は江津湖と並ぶ市民が自慢の湧水公園である。この湧水の中には、見たこともない水生昆虫たちがたくさん生きている。当日は、水の中に入り、ザルを使って川底の石をさらい、ヤゴやカワゲラ、トビケラの仲間を搜した。

- ・担当 坂梨、免田、前田

② 海辺の生き物を観察しよう

- ・日時 7月30日（日）
10:00～12:00
- ・場所 上天草市 大矢野町宮津海浜公園
- ・参加人数 45人
- ・講師 松本達也氏（貝類研究家）
- ・概要



海辺には、たくさんの貝類やヒトデの仲間、カニの仲間などたくさんの生き物が棲んでいる。宮津海浜公園は、熊本市内からのアクセスも良く、環境も砂地や礫地もあって多様性に富んでおり、多くの種類の生き物を観察できる場所である。当日は、ツメタガイの卵である、通称「砂茶碗」やメダカラガイなどの貝類のほか他、海の危険生物の一つであるウミケムシも観察された。

- ・担当 坂梨、天野、免田

③ 夏の星空を楽しもう

- ・ 日時 7月30日(土)
20:00～22:00
- ・ 場所 熊本市城南町 熊本県民天文台
- ・ 講師 艶島敬昭氏(熊本県民天文台台長) 他
- ・ 参加者数 93人
- ・ 概要

開始時刻には、雲に覆われ星が見えない状況であったため、艶島台長にスライドを使った星の話、七夕の話を行ってもらった。雲が切れるタイミングで、大型望遠鏡等を用いた夏の星々の観察を行った。

- ・ 担当 川路、廣田



④ 河原の石を観察しよう

- ・ 日時 7月30日(土)
10:00～12:00
- ・ 場所 山鹿市鹿本町中川 菊池川中川橋下左岸
- ・ 講師 岩崎泰頴氏(熊本大学名誉教授)
富田克敏氏(元近畿大学教授)
- ・ 参加者数 35人
- ・ 概要

河原の石の並び方から、水の流れを想像したり、色や手触りの違いから河原の石を自分たちで分類した。また、1m四方の中にある石の大きさと種類を5ヶ所でグループごとに調べ、互いに比べ合うことで、同じ河原でも場所によって重なる石の大きさに変化があることが分かった。

- ・ 担当 川路、廣田



⑤ 中秋の名月を見よう、写そう

- ・ 日時 9月12日(月)
20:00～22:00
- ・ 場所 熊本市城南町 熊本県民天文台
- ・ 講師 艶島敬昭氏(熊本県民天文台台長) 他
- ・ 参加者数 64人



- ・ 概要

夕方雲に覆われていたが、開始時刻頃から雲が切れ、小型屈折望遠鏡で月のクレーターなどの観察をしたり、大型望遠鏡を用いてデジタルカメラや携帯電話のカメラによる月の写真撮影を楽しんだ。

- ・ 担当 川路、廣田

⑥ 地中の生き物を観察しよう

- ・ 日時 10月23日(日)

10:00～12:00

- ・ 場所 松橋収蔵庫

- ・ 参加者数 23人

- ・ 概要

毎年、秋になると、たくさんの落ち葉が林の中には降り積もる。しかし、いつの間にか分解されて元の状態に戻っていく。それは、地中で生きているたくさんの生き物の働きのおかげなのである。石や朽ち木をひっくり返してみたり、落ち葉や土をふるいでふるったりすると、見たこともないようなたくさんの生き物の姿を見つけることができた。土の中の多様な生き物を観察することができた。

- ・ 担当(講師) 天野、免田



⑦ キノコをさがそう

- ・ 日時 10月30日(日)

10:00～12:00

- ・ 場所 立田山

- ・ 講師 鈴木敏雄氏(熊本きのこ会会長)
青木勝利氏(熊本きのこ会副会長)
早田幸作氏(熊本きのこ会副会長)

- ・ 参加者数 25人

- ・ 概要

熊本市の立田山をキノコの探索と採集をしながら散策し、その後採集物の名前調べを行った。

- ・ 担当(講師) 天野、前田



⑧ タネを探そう

・日時 11月6日(日) 10:00～12:00

・場所及び集合場所 人吉市 人吉城跡

・参加者数 3人

・概要

人吉城内で様々な草木の種子を採集観察し、その散布様式や種を食べる動物などを予想した。観察会を終えた後は、散布様式でグループ分けし、学習シートに貼り付けてまとめた。

・担当 天野、前田



⑨ コケを探そう

・日時 1月29日(日) 10:00～12:00

・場所及び集合場所 松橋収蔵庫

・参加者数 25人

・概要

コケ植物の概説やルーペの使い方の解説後、収蔵庫敷地内でコケ植物の観察と採集を行った。コケ植物のほか、地衣類、藻類、着生シダ、幹に付くイラガの蛹など、幅広く観察した。観察会後は、顕微鏡を使いコケ植物の体の構造や孢子嚢などを観察した。

・担当(講師) 坂梨、前田



⑩ 化石の採取とクリーニング

○化石採集

・日時 3月11日(日) 13:50～16:00

・場所 上天草市龍ヶ岳町 梶島

・講師 岩崎泰顕氏(熊本大学名誉教授)

・参加者数 30人

・概要

梶島の海岸を歩き、地層の観察(地層の傾き、さざ波の化石、動物の這い痕の化



石)を行った。観察後、ハンマーの使い方を学んだ後化石採集を行った。化石を含んでいる地層が崩れていたため、化石を多く発見することができ、参加者全員が化石を採集することができた。

- ・担当 川路、廣田

○化石クリーニング

- ・日時 3月25日(日)
10:00～12:00

- ・場所 松橋収蔵庫
- ・講師 岩崎泰頴氏(熊本大学名誉教授)
- ・参加者数 9人
- ・概要

3月11日に採集した化石のまわりについている岩石を取り除いてきれいにしたり、化石の名前を調べた。化石の名前をラベルに書き、壊れないように保存する方法を学んだ。

- ・担当 川路、廣田



(2) 熊本を知る講座

熊本の自然や文化について学ぶ松橋収蔵庫で行う一般向けの講座。

① 古文書読み解き講座 初級編

- ・開催日時 平成23年6月～平成24年3月の第3土曜日(計10回)
- ・受講者数 28人
- ・趣旨

本課が所蔵する歴史資料(古文書)を教材として活用し、受講者が古文書に親しみながら、基礎知識や基本的な読解力を身に付けることを目指す。

特に、昨年度の入門編受講者を中心とした古文書読解初級者を対象に、熊本の歴史・文化についての理解を深め、松橋収蔵庫における博物館活動の充実を図る。

- ・使用史料

「桃太郎 其一 其二」『訂正 帝国讀本 卷之四』(吉倉眞収集資料)

「平天儀図解(部分)」(森下功旧蔵資料)

「会約」(熊本市辛島家資料)

「池田手永略御手鑑帳」(森下功旧蔵資料)

「肥後名勝略記(写)(部分)」(森下功旧蔵資料)

「質地証文」(質地証文類)

「口上之覚」（森下功旧蔵資料）

「御内意奉願口上之覚」（森下功旧蔵資料）

「有馬城本丸一番乗（写）」（森下功旧蔵資料）

・ 担当 田中・上崎

② 暮らしの中の民俗学

・ 開催日 平成23年6月～平成24年3月 第2木曜日（計10回）

・ 参加者数 12人

・ 趣旨

熊本で、日頃何気なく行っている行事やしきたりのいわれや意味を理解することにより、伝承文化の意義や次世代に伝えていくことの大切さを伝えることを目的とする。

・ 各回の内容

6月 9日 暮らしのリズム

7月14日 年中行事1 盆と正月

8月11日 年中行事2 節供のはなし

9月 8日 通過儀礼1 子どもの時代

10月13日 通過儀礼2 青年の時代

11月10日 通過儀礼3 大人の時代

12月 8日 ハレとケとケガレ

1月12日 男と女

2月 9日 家族の型

3月 8日 民俗学とこれからの暮らし

・ 担当（講師） 國本、迫田



③ 身の回りのコケを学ぶ

・ 開催日時 6月～10月の第1土曜日（5回）

・ 講師 河上昭夫氏（熊本記念植物採集会副会長）

・ 参加者数 延べ60人

・ 内容趣旨

一般的なコケの体の作りについて学び、識別する際に必要な部位やその名称について、一通



り身につけていただいた。その後、スギゴケやハイゴケ、ヒョウタンゴケなど、身の回りにあるコケについて勉強した。

- ・ 担当 坂梨

④ 貝を学ぶ

- ・ 開催日時 11月～3月の第1日曜日（5回）
- ・ 講師 松本達也氏（貝類研究家）
- ・ 参加者数 延べ58人
- ・ 内容

松橋収蔵庫が所蔵する、立志徹郎貝類コレクションを用いて、分類群ごとに貝の特徴を学び、識別力を養った。貝類は種類が多く、また、似た種類も多いため、一回ずつ、科ごとにその科の特徴を覚え、少なくとも科だけは識別できるようになった。

- ・ 担当 坂梨

(3) 「くまもと自然と文化の学芸員」養成講座

身近な自然・文化資源についての調査研究に取り組みたいという方々を対象に、自然分野、歴史分野、伝承文化分野の3講座を開催し、講座修了者を「くまもと自然と文化の学芸員」としての認定する事業。熊本の自然・文化資源の活用及び県内外への情報発信や県民参加の博物館活動のリーダーを育成することを目指す。

① 自然分野

- ・ 会場 南阿蘇ビジターセンター他
- ・ 開催日 平成23年5月～平成24年3月
第4木曜（計11回）

- ・ 認定者数 26名

・ 各回の概要

- 5月26日 開校式、講座ガイダンス
実習①野草園の植物
- 6月23日 実習②休暇村南阿蘇及び野草園の野鳥
講座①救急法・装備等
- 7月28日 講座②阿蘇の植物について



- 実習③休暇村南阿蘇及び野草園の夏草
講師 瀬井純雄氏（南小国町立中原小学校長）
- 8月25日 講座③生物写真の撮り方
実習④生物写真の撮り方
講師 津田堅之介氏（動物写真家）
- 9月22日 講座④阿蘇の地形の成り立ち
実習⑤中央火口丘群の地形と地質
講師 池辺伸一郎氏（阿蘇火山博物館館長）
会場 阿蘇火山博物館、杵島岳
- 10月27日 実習⑥南外輪山の地形と地質
会場 護王峠
- 11月17日 実習⑦南外輪山のブナ林
会場 地蔵峠～駒返峠
- 12月22日 講座⑤鳥インフルエンザについて
講座⑥火山活動と温泉について
- 1月26日 実習⑧出水のツル及びツル博物館
会場 ツル博物館クレインパーク出水
- 2月23日 講座⑦動植物の命名規約について
実習⑨南阿蘇の温泉
会場 南阿蘇村河陽
- 3月22日 実習⑩南阿蘇の湧水
講師 梶原宏之氏（阿蘇たにびと博物館長）
会場 南阿蘇村白水
講座⑧地下水について



※会場記入がないものは、南阿蘇ビジターセンター及びその周辺

・担当（講師） 坂梨、天野、川路、免田、前田、廣田

② 歴史分野

- ・共催 天草市立本渡歴史民俗資料館
- ・会場 天草市立本渡歴史民俗資料館ほか
- ・開催日 平成23年6月～平成23年3月の第2金曜日（計10回）
- ・認定者数 20人
- ・各回の概要

- 6月10日 開講式
講座①「くまもと自然と文化の学芸員」養成講座の目的
講座②「本渡歴史民俗資料館の概要及び施設見学」
- 7月 8日 講座③「天草の歴史の魅力」
講師 吉村豊雄氏（熊本大学文学部教授）
- 8月12日 講座④「松橋収蔵庫の概要及び施設見学」
講座⑤「掛軸の取り扱い」
講座⑥「歴史資料の整理・保存」
講座⑦「古文書整理実習」
- 9月 9日 講座⑧「博物館資料の撮影」
講座⑨「写真撮影実習」
講師 岩崎竹彦氏
（熊本大学五高記念館准教授）
- 10月14日 講座⑩「金石文及び拓本作成」
講座⑪「拓本実習」
講師 前川清一氏
（肥後金石研究会主宰）
- 11月11日 講座⑫「地域の歴史を調べよう」
講座⑬「民俗調査実習」
講師 國本
- 12月 9日 民俗調査実習の成果発表
講座⑭「課題レポート作成」
事例報告「上天草市龍ヶ岳の開山塔」
報告者 木下栄氏（くまもと自然と文化の学芸員）
- 1月13日 講座⑮「自主調査中間発表」
- 2月10日 講座⑯「天草アーカイブズの概要及び施設見学」
講座⑰「襖下張り剥ぎ実習」
講師 砂月明海氏（天草アーカイブズ管理係主事）
- 3月 9日 講座⑱「自主調査結果発表」
修了式（認定証授与）
- ・担当（講師） 田中、上崎



③ 伝承文化分野

- ・会場 松橋収蔵庫
- ・開催日 平成23年6月～平成24年3月 第4木曜日（計9回）

・認定者数 6人

・各回の内容

6月23日 受講者自己紹介

講座「民俗学とは」

講座「民俗調査の手法」

7月28日 講座「民俗調査の分野」

「聞き取り調査練習」

8月25日 講座「調査項目の立て方」

「木原地区概観調査結果発表」

9月22日 「民俗調査」

(熊本市富合町 木原老人憩いの家 協力：木原地区老人会)

10月27日 講座「金石文入門」

「拓本実習」

講師 前川清一氏 (肥後金石研究会主宰)

11月24日 公開講座「県民参加の博物館活動」

～琵琶湖博物館の”はしかけ”について～

12月22日 「民俗調査結果発表」

1月26日 「次回調査に向けた調査項目作り」

2月23日 「民俗調査実習」

(熊本市富合町木原老人憩いの家 協力：木原地区老人会)

3月22日 調査レポート発表会

修了式 (認定証授与)

・担当 (講師) 國本、迫田



④ 公開講座

・期日 11月24日 (木)

・会場 熊本市民交流館パレア会議室

・参加者 50人

・演題 「県民参加の博物館活動博物館」

～琵琶湖博物館の”はしかけ”について～

講師 川那部浩弥氏 (元滋賀県立琵琶湖博物館館長)



(4) 他団体との共催講座

①環境学習会

- ・ 共催団体 熊本自然環境研究会
- ・ 開催日時 8月～3月の第四土曜日（8回）
- ・ 講師 今江正知氏（熊本自然環境研究会会長）
永田瑞穂氏（熊本自然環境研究会事務局長）
- ・ 参加者数 延べ78人

・ 内容

熊本は、多様で豊かな自然環境に恵まれたところである。この自然環境はいかにして作られ守られてきたのかを講義形式で学んだ。映像や対話、発表を重視することにより、参加者各自が自分のものとして捉えることができたのではないかな。

- ・ 担当（講師）坂梨

(5) キッズミュージアム

夏休みに楽しく遊びながら自然や科学、歴史、伝統文化について体験する子ども向けのプログラムです。

- ・ 会場 文化企画課松橋収蔵庫
- ・ 開催日 平成23年7月23日（土）、24日（日）の計2日
- ・ 参加者数 321名
- ・ 体験メニュー

- 7月23日 鉱物万華鏡を作ろう、石臼でキナコ団子作り、竹でっぼうを作って遊ぼう、石のペンダントを作ろう、クズのつるで工作しよう、昆虫採集・標本作り、化石レプリカづくり、水でっぼうを作って遊ぼう
- 7月24日 古銭のレプリカを作ろう、セミのぬけがら探し、化石コースターを作ろう、草木染でエコバッグを作ろう、和製ノートを作ろう、葉脈標本作り、あい染めにチャレンジ、縄文土器を作ろう、葉っぱもようのうちわを作ろう



(6) バックヤードツアー

日頃公開していない収蔵室を公開する事業。松橋収蔵庫の資料や日頃の業務について各分野の職員が説明。

- ・ 期日 11月19日(土) 13:30～14:30
- ・ 会場 松橋収蔵庫
- ・ 参加者数 35人



(7) 移動体験教室及び講師派遣

移動体験教室はPTAや子ども会などにキッズミュージアムのメニューから多人数で同時に体験できるメニューを出前する事業。講師派遣は学校の授業や公民館などの生涯教育機関等に講師を派遣した。

① 移動体験教室

- | | |
|--------|-----------------------------|
| 7月 9日 | 氷川町立竜北東小学校PTA
化石レプリカ |
| 8月 2日 | 八代市立麦島小学校児童育成クラブ
石臼で黄粉団子 |
| 10月14日 | 八代市立大田郷小学校PTA
石臼で黄粉団子 |
| 10月28日 | 阿蘇市立碧水小学校放課後子ども教室
空飛ぶ種 |
| 11月 5日 | 宇城市立豊川小学校PTA
化石レプリカ |
| 11月20日 | 宇城市立小川小学校PTA
草木染め |
| 11月 5日 | 健軍校区六町内子供会
化石レプリカ |



- 1 1 月 2 7 日 熊本市立壺川小学校 P T A
葉脈標本
- 1 1 月 2 7 日 熊本市立託麻北小学校 P T A
空飛ぶ種



② 講師派遣

- 1 0 月 2 6 日 菊陽町立菊陽中学校 2 年社会科授業 養蚕について
- 1 1 月 6 日 宇土市立花園小 4 年
化石レプリカ作り、石臼で黄粉団子づくり
- 1 月 2 7 日 津奈木町立津奈木小学校 3 年社会科授業 昔の暮らしと道具
- 2 月 1 3 日 宇城市立海東小学校 3 年社会科授業 昔の暮らしと道具

(8) 博物館実習、職場体験等

① 博物館実習

- ・ 期間 平成 2 3 年 9 月 7 日～9 月 2 0 日（うち 7 日間）
- ・ 受入学生 熊本大学 1 0 人 東海大学 1 人
- ・ 実習内容
 - 7 日 午前 共通 オリエンテーション、施設案内
 - 午後 共通 企画展示「ちょっと昔の暮らし探検Ⅳ」説明
民俗分野業務説明、収蔵室案内
 - 8 日 午前 共通 各分野業（民俗以外）務説明、収蔵室案内
 - 午後 共通 展示制作実習（写真パネル、キャプション制作）
 - 9 日 共通 展示製作実習（資料列品 ライティング）
 - 1 0 日 午後 学習支援活動実習「草木染めの会」（希望者のみ）
 - 1 2 日 午前 共通 学習支援実習「青海小展示見学、体験学習」
I P M と収蔵庫虫チェックの説明
 - 午後 写真撮影実習
 - 1 3 日～1 6 日 分野別資料整理等実習
 - 1 7 日 午前 学習支援活動実習「古文書読み解き講座」（希望者のみ）
 - 2 0 日 午前 分野別実習
 - 午後 課題発表会
意見交換会

②中学生職場体験

- ・ 期間 平成 23 年 10 月 26 日～ 27 日
- ・ 受入生徒 熊本県立宇土中学校 2 年 10 人
- ・ 体験内容 歴史、民俗、動物、植物、地学各分野の資料整理

(8) ミュージアムパートナーズクラブ

県民参加の博物館活動を進めることを目的とした、誰でも入会できるクラブ。松橋収蔵庫などでの催し物の案内が受けられるほか、様々な自主活動を松橋収蔵庫で行える。現在は「資料整理グループ」、「草木染めの会」、「動植物観察会」の 3 グループが活動している。(平成 24 年度制度改正予定)

- ・ 登録者数 129 人 (平成 24 年 3 月現在)

・ グループ概要

「資料整理グループ」

- ・ 活動人数 9 人
- ・ 活動日 毎週火曜日
- ・ 活動内容

資料のクリーニング、調書作成及び情報入力等

収蔵庫環境整備 (害虫調査等), 屋外環境整備 (清掃等) 等

「草木染めの会」

- ・ 活動人数 10 人
- ・ 活動日 第 2 土曜日
- ・ 活動内容

熊本の植物を使つての草木染め実践

藍の栽培と藍染め実践

キッズミュージアムでの「草木染め」運営

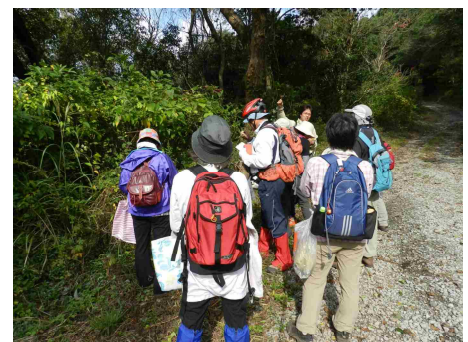
「動植物観察会」

- ・ 活動人数 16 人
- ・ 活動日 毎月第 2 日曜日
- ・ 活動内容

雁回山 (木原山) の植物相調査

市房山のゴイシツバメシジミや鹿児島県出水市のツルの観察会

「観察会便り」(会員配布用) 1～5 号の発行



3 資料収集整理活動

(1) 各分野の資料収集、整理活動 (平成23年3月31日現在)

① 動物

・現在の資料収蔵点数

立志徹郎氏寄贈貝類標本	約100,000点
河川水辺の国勢調査成果品	約1,000点
入江氏委託動物標本	約800点
入江切手コレクション	約3,000点
宇土高校寄贈液浸標本	約100点
済々黌高校寄贈液浸標本	約2,500点
熊本大学教育学部寄贈液浸標本	約500点
その他	約12,000点
計	約120,000点

・平成23年度の受入点数

鳥獣保護センター所有冷凍鳥獣	約50点
その他冷凍鳥獣等	3点

・資料登録点数

分類群	乾燥（剥製等）	液浸	計
NB11哺乳類	145	97	242
NB12鳥類	842	1	843
NB13両生・爬虫類	11	289	300
NB14魚類	18	1,742	1,760
NB15昆虫類	1,761	340	2,101
NB16多足類	3	571	574
NB17甲殻類	2	781	783
NB18軟体動物	3,890	226	4,116
NB19その他分類群	5	20	25
計	6,677	4,067	10,744

・平成23年度作業内容

剥製および冷凍鳥獣受け入れおよび登録、液浸標本作製および登録、乾燥昆虫標本作製および登録、立志貝類標本登録・収納および複標本分類整理

② 植物

・ 現在の資料収蔵点数 約 260,000 点

・ 平成23年度の寄贈資料

熊本記念植物採集会 9 点

・ 登録点数

N B 2 (植物) 103,762 点

N B 3 (菌類) 1,835 点

N B 4 (藻類) 45 点

計 108,642 点

・ 平成23年度の主な整理登録作業

熊本大学標本 (シダ・種子植物)、個人寄贈標本の分類別配架作業

熊本大学標本 (採集者別) の台紙マウント、ラベル貼り付け

熊本大学標本 (コケ類) の登録作業

③ 地質

・ 現在の資料収蔵点数

今西茂標本 約 1,500 点

長谷義隆標本 約 10,000 点

アトラスくまもと標本 174 点

荒尾宏岩石標本 200 点

熊本大学理学部地学科進級論文標本 約 4,700 点

河野通幸化石標本 217 点

岩崎泰顕標本 約 6,500 点

津末昭生標本 約 4,300 点

熊本大学工学部標本 約 10,000 点

熊本大学理学部地学科卒業・修士論文標本 約 5,300 点

村田正文標本 約 1,100 点

遠藤誠道植物化石標本 約 600 点

斉藤林次標本 約 200 点

早田幸作標本 約 200 点

千藤忠昌標本 約 1,300 点

植田和男標本 約 100 点

フェイス女学院松本唯一標本 約 270 点

その他 (少数寄贈、職員製作など) 約 100 点

計 約 46,000 点

・登録点数

岩石	堆積岩	1, 1 1 7
	火成岩	1, 1 4 0
	変成岩	3 8 4
	その他	7 6
鉱物・鉱石	元素鉱物	7 2
	硫化鉱物	1 7 1
	ハロゲン化鉱物	2 8
	酸化・水酸化鉱物	2 4 8
	炭酸 塩・硝酸塩・ホウ酸塩鉱物	1 1 7
	硫酸塩・タングステン酸塩鉱物	6 1
	リン酸塩・ヒ酸塩・バナジン酸塩鉱物	5 1
	珪酸塩鉱物	3 3 7
	その他	7 0
植物化石	被子植物	8 1
	裸子植物	2 2
	シダ植物	1 8
	その他	2 7
動物化石	脊椎動物	5 9
	原索動物	4
	棘皮動物	6 9
	節足動物	3 0
	軟体動物	8 6 2
	腕足動物	7 0
	刺胞動物	6 7
	その他	3 0
微化石	動物	2 1
	植物	4

合計 5, 2 2 8

・平成23年度整理登録作業

千藤忠昌標本の整理

熊本大学工学部鉱物標本の整理・登録

岩崎泰顕標本の整理済分の登録

展示など使用標本の登録

④ 歴史

・資料収蔵点数及び登録点数

	コレクション名	資料点数	登録点数
1	熊本市辛島家資料	25,035	0
2	鏡町下山家資料	2,977	0
3	御免方取締一卷	1	1
4	不知火町直江家資料	55	55
5	嘉島町安藤家資料	973	973
6	牛深市浜田家資料	140	0
7	齊藤俊三収集資料	1,071	0
8	高森町久々宮家資料	51	51
9	高森町瀬井家資料	551	551
10	西崎俊秋寄贈資料	204	0
11	熊本市猿渡家資料	1,879	489
12	三角千代子寄贈資料	6	0
13	高村勇三収集資料	1,480	0
14	坂口雅流収集資料	1,656	0
15	吉倉眞収集資料	17	17
16	高森町安藤家資料	784	784
17	森下功旧蔵資料	1,394	1394
18	福田巧寄贈資料	14	0
19	甲斐英子寄贈資料	19	19
20	田口幸宗寄贈資料	150	0
21	岩永武男寄贈資料	913	0
22	松本達也寄贈資料	5	5
23	西山佳代寄贈資料	6	6
24	東アサオ旧蔵資料	28	0
25	同田貫鉄鑓	1	0
26	八代市竹田家資料	523	0
27	池部美恵子寄贈資料	5	5
28	水筒	1	1
29	鹿児島英雄揃	1	1
30	高須恒男寄贈資料	6	6
31	熊本市米村家資料	400	0
32	豊福愛国国防婦人会木皿	1	1
33	大野恵子寄贈資料	2	2
34	緒方満寄贈資料	39	39

	コレクション名	資料点数	登録点数
35	太田喜一郎寄贈資料	2	2
36	支那事変貯蓄債券特別報国債券	1	1
37	廣吉秀澄寄贈資料	6	0
38	質地証書類	300	0
39	宇城市坂口家資料	6	6
	合計	40,703	4409

・平成23年度寄贈資料

宇城市坂口家資料（6点）

・平成23年度の主な整理登録作業

- ・高森町安藤家資料整理台帳の修正及び登録
- ・鏡町下山家資料の整理台帳作成
- ・熊本市辛島家資料の整理台帳作成、民俗分野に一部移管

⑤ 民俗

・資料収集点数及び登録点数

大分類	小分類	収集点数(概数)	登録済点数
衣食住	衣	3 8 0	2 1 4
	食	8 2 0	5 3 8
	住	2 4 0	2 2 2
生産生業	自然物採集	1 7	1 7
	農業	6 8 0	6 8 0
	山樵	1 3 2	1 3 2
	採鉱・冶金	1 0	1 0
	漁撈・製塩	1 4 0	1 3 9
	狩猟	1 0	1 0
	養蚕・牧畜	1 8 3	1 8 3
	繊維	8 2	8 2
	諸職・手工芸	3 8 1	3 8 1
交通交易	交通	1 5 0	1 4 3
	交易	7 0	7 2
社会	社会	2 0	1 9
信仰	神社	8	8
	寺院	4 2	4 2
	民間信仰	2 5	2 5
民俗知識	教育	4 0	1 5

・資料収集点数及び登録点数

大分類	小分類	収集点数(概数)	登録済点数
民俗知識	医療	3 0	1 4
	暦	5	5
	卜占	0	0
芸能娯楽	民俗芸能	0	0
	競技	0	0
	娯楽	4 2	4 0
儀礼	年中行事	4 9	4 9
	人生儀礼	4 0	3 7
小計		3 , 5 9 6	3 , 0 7 7
写真資料		1 5 4 , 4 0 0	3 , 6 3 2
合計		1 5 7 , 9 9 6	6 , 7 0 9

・平成23年度寄贈資料

芸能娯楽関係2点を収集

・平成23年度整理登録作業

- ・衣食関係資料、農業資料等108点整理登録
- ・写真資料については白石写真 モノクロデータベース作成(作業中)、白石写真827点を登録

(2) 資料貸出等

- 6月7日 『Hand To Land 2011 夏号』 写真資料1点提供
- 7月15日～10月30日 玉名市立歴史博物館ころろピア 写真資料2点
- 7月20日～9月5日 山鹿市立博物館 民俗資料10点
- 9月13日～16日 宇城市立河江小学校 民俗資料8点
- 9月16日～26日 熊本市立杉上小学校 民俗資料3点
- 9月15日 小峰書房 写真資料5点提供
- 10月2日 崇城大学芸術学部 呉氏 動物資料1点
- 11月24日 ザ・ライトスタッフ 写真資料4点提供
- 11月10日 朝日放送 写真資料1点提供
- 11月1日 熊本市立千原台高等学校 動物資料3点
- 2月6日～13日 八代市立大田郷小学校 民俗資料20点
- 2月9日 帝国書院 写真資料1点提供
- 2月22日 宇土高校 動物資料1点
- 3月19日 ハユマ 写真資料1点提供
- 3月21日～23日 宇土高校 動物資料1点

4 情報発信

(1) 熊本の自然と文化～松橋収蔵庫だより～

松橋収蔵庫で行う展示やイベント、収蔵資料の紹介などを行う広報誌で、年4回、2000部発行（A3二つ折り）。県庁ホームページでも公開。



① No.16 (Vol.5-1) 平成23年7月15日発行

<掲載記事>

- ・企画展示「水辺の生き物」紹介
- ・夏休みキッズミュージアムのお知らせ
- ・資料紹介「座繰」
- ・資料紹介「クロツラヘラサギ」
- ・資料紹介「功七級金鵄勲章」
- ・資料紹介「ホテイアオイ」
- ・資料紹介「ソロバン玉石」



② No.17 (Vol.5-2) 平成23年9月15日発行

<掲載記事>

- ・企画展示「ちよっと昔の暮らし探検IV」紹介
- ・バックヤードツアーのお知らせ
- ・資料紹介「オオルリ」
- ・資料紹介「明治三十七八年従軍記章」
- ・資料紹介「アレチハナガサ」
- ・資料紹介「四放サンゴと六放サンゴ」
- ・資料紹介「糸車」



③ No.18 (Vol.5-3) 平成23年12月15日発行

<掲載記事>

- ・企画展示「鳥の楽しみいろいろ」紹介
- ・熊本自然と文化の学芸員養成講座公開講座報告
- ・資料紹介「丑卯東遊稿」
- ・資料紹介「ワルナスビ」
- ・資料紹介「褐鉄鉾（リモナイト）」
- ・資料紹介「実繰」
- ・資料紹介「ミサゴ」

③ No.19 (Vol.5-4) 平成24年3月15日発行

<掲載記事>

- ・企画展示「熊本の祈りと感謝」紹介
- ・クロツラヘラサギ観察会報告
- ・資料紹介「スバルティナ・アルテルニフロラ」
- ・資料紹介「オカダキリガイダマシ」
- ・資料紹介「針箱」
- ・資料紹介「ラミーカミキリ」
- ・資料紹介「集古十種 名物古画」



(2) 企画展示図録

① 「昭和6年の展覧標本」

- ・A4 98ページ 平成23年6月30日発行

② 「ちょっと昔のくらし探検Ⅳ」

- ・A4 78ページ 平成23年9月12日発行

③ 「ふしぎな鉱物の世界」

- ・A4 66ページ 平成23年11月1日発行

(3) 収蔵資料目録

① 「熊本県文化企画課松橋収蔵庫資料目録 Vol.15 生物5」

村岡節雄植物標本目録

- ・A4 136ページ 平成23年6月30日発行

② 「熊本県文化企画課松橋収蔵庫資料目録 Vol.16 写真4」

白石巖撮影カラー写真 民俗(葦北・球磨・天草・県外)

- ・A4 144ページ 平成24年3月15日発行

③ 「熊本県文化企画課松橋収蔵庫資料目録 Vol.17 地質3」

Krantz標本Ⅱ 化石標本

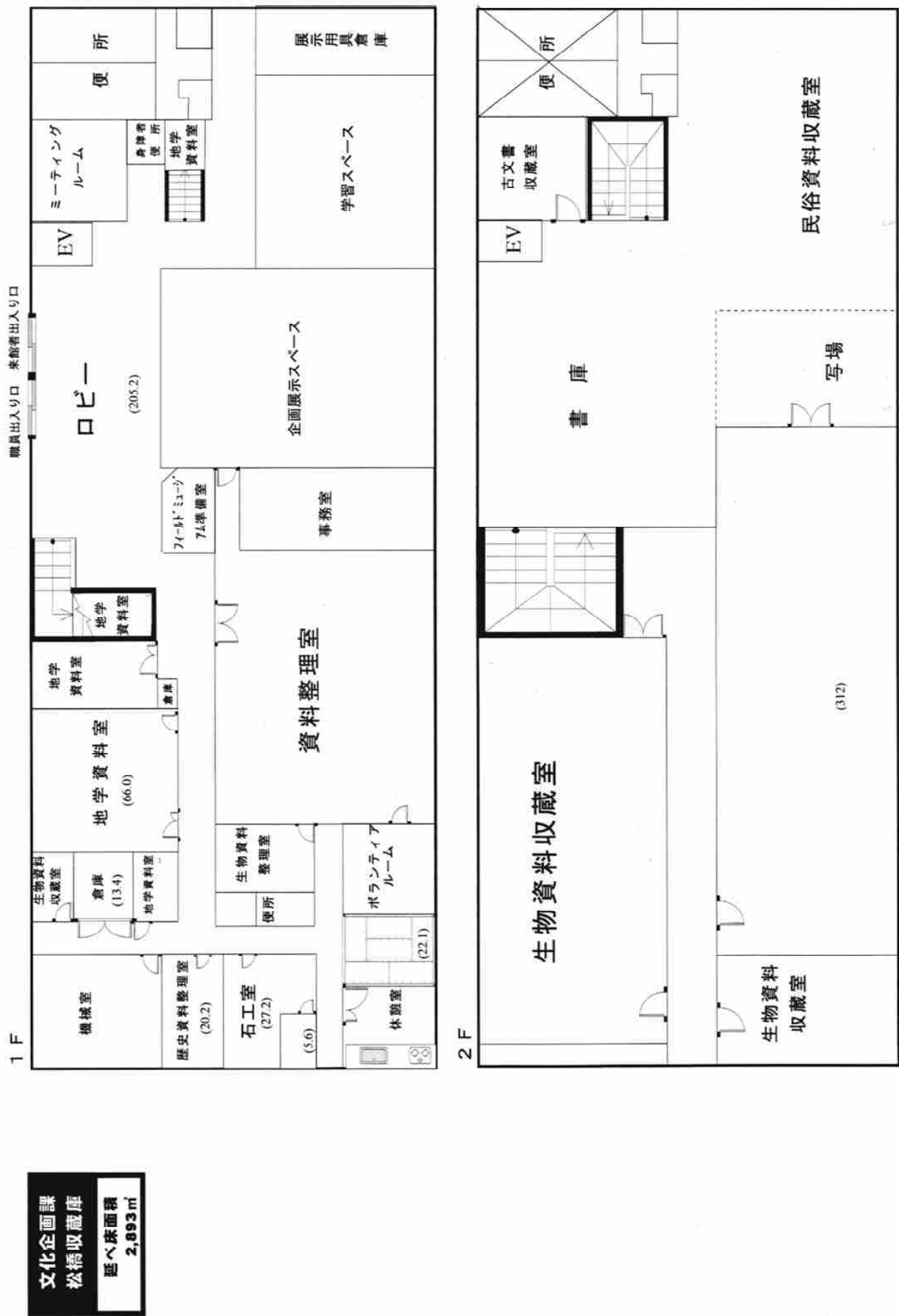
- ・A4 70ページ 平成24年3月31日発行

5 資 料

(1) 平成23年度職員

文化企画課長	富永正純
文化企画課 審議員	宗村士郎
文化企画課博物館プロジェクト班	
課長補佐（班長）	中村啓一
主幹（民俗）	國本信夫
参事（動物）	坂梨仁彦
参事（地質）	川路芳弘
参事（植物）	天野守哉
主任主事（歴史）	田中孝行
博物館活動囑託（民俗）	迫田久美子
博物館活動囑託（植物）	前田哲弥
博物館活動囑託（動物）	免田隆大
博物館活動囑託（地質）	廣田志乃
博物館活動囑託（歴史）	上崎武蔵

(2) 文化企画課松橋収蔵庫施設平面図



(3) 熊本県文化企画課松橋収蔵庫資料利用要項

(趣旨)

第1条 この要項は、熊本県文化企画課松橋収蔵庫（以下「松橋収蔵庫」という。）が収蔵する資料を利用する場合（熊本県企画振興部地域・文化振興局文化企画課職員（以下「文化企画課職員」という。）が業務として利用する場合を除く。）の手続きに関し、必要な事項を定めるものとする。

(利用の内容)

第2条 この要項で定める資料の利用とは、次のものをいう。

- (1) 資料の閲覧
- (2) 資料の借用
- (3) 資料の撮影及び撮影写真の公表

(利用の要件)

第3条 熊本県企画振興部地域・文化新興局文化企画課長（以下「文化企画課長」という。）は、資料利用の申請がある場合において、当該申請が次の全てに該当するときは、資料の利用を許可することができる。

- (1) 松橋収蔵庫の日常の業務に支障がないこと。
 - (2) 資料の取扱いについて、文化企画課職員の指示を守ることが約するものであること。
 - (3) 営利を目的としないこと。
 - (4) 政治的又は宗教的目的を持ってないこと。
 - (5) 利用に関する全ての経費を利用者が負担するものであること。
- 2 前項の規定にかかわらず、特に必要があると認められる場合は、申請に応じて資料の利用を許可することができる。

(資料の利用の申請)

第4条 資料の利用を希望する者は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める申請書を文化企画課長に提出しなければならない。

- (1) 資料の閲覧を希望する者は、事前に閲覧申請書（別紙様式1）を提出しなければならない。
- (2) 資料の借用を希望する者は、借用を希望する日の1週間前までに資料借用申請書（別紙様式2）を提出しなければならない。
- (3) 資料の撮影及び撮影した写真の公開を希望する者は、撮影を希望する日又は撮影した写真を公開する予定の日の1週間前までに、資料の撮影及び撮影写真の公開申請書（別紙様式3）を提出しなければならない。

(許可の通知)

第5条 文化企画課長は、前条の申請の内容が適当と認められるときは、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める通知を行うものとする。

- (1) 前条第2項に定める申請の場合 資料貸出承諾通知書(別紙様式4)
- (2) 前条第3項に定める申請の場合 資料貸出承諾通知書(別紙様式5)

(許可の取消し)

第6条 文化企画課長は次の各号のいずれかに該当するときは、第3条の許可を取消することができる。

- (1) 申請内容以外の利用があったとき。
- (2) 資料の取扱いについて文化企画課職員の指示を守らなかったとき。
- (3) その他資料の破損、汚損の恐れが高いと認められるとき。

附 則

この要項は、平成21年6月12日から施行する。

(別紙様式 1)

文化企画課松橋収蔵庫資料閲覧申請書

平成 年 月 日

熊本県企画振興部地域・文化振興局文化企画課長様

住所 (団体の場合は事務所の主たる所在地)

(団体の場合は団体名)

氏名 (団体の場合は代表者氏名)

印

下記のとおり資料を閲覧したいので申請します。

1 閲覧目的

2 閲覧日時 年 月 日 時 ~ 時

3 閲覧希望人数

4 閲覧資料

名 称	資料点数	備考

5 閲覧者連絡先

(氏名)

(電話番号)

(E-mailアドレス)

6 その他

- ・資料の取り扱いについては文化企画課職員の指示に従います。
- ・閲覧中は資料の破損汚損がないよう細心の注意をはらいます。破損汚損があった場合はその責めは閲覧者が負います。
- ・資料の撮影及びその写真を印刷物へ掲載する場合は別途申請します。

(別紙様式 2)

文化企画課松橋収蔵庫資料借用申請書

平成 年 月 日

熊本県企画振興部地域・文化振興局文化企画課長様

住所 (団体の場合は事務所の主たる所在地)

(団体の場合は団体名)

氏名 (団体の場合は代表者氏名)

印

下記のとおり資料を借用したいので申請します。

1 借用目的

2 借用期間 年 月 日～ 年 月 日

3 借用資料

名	称	資料点数	備考

4 借用責任者連絡先

(氏名)

(電話番号)

(E-mailアドレス)

5 その他

- ・資料の取り扱いについては文化企画課職員の指示に従います。
- ・借用中は資料の破損汚損がないよう細心の注意をはらいます。破損汚損があった場合はその責めは借用者が負います。
- ・資料を展示する場合は所有者名として「熊本県 (文化企画課松橋収蔵庫)」と明示します。
- ・資料の撮影及びその写真を印刷物へ掲載する場合は別途申請します。

(別紙様式3)

文化企画課松橋収蔵庫資料撮影及び撮影写真の公開申請書

平成 年 月 日

熊本県企画振興部地域・文化振興局文化企画課長様

住所(団体の場合は事務所の主たる所在地)

(団体の場合は団体名)

氏名(団体の場合は代表者氏名)

印

下記のとおり資料を撮影及び撮影写真の公開をしたいので申請します。

1 撮影及び撮影写真の公開の目的

2 撮影写真公開の方法

3 撮影日時 年 月 日 時 ~ 年 月 日 時

4 撮影及び撮影写真の公開を行う資料

名 称	資料点数	備考

4 撮影及び公開の責任者連絡先

(氏名)

(電話番号)

(E-mailアドレス)

5 その他

- ・資料の取り扱いについては文化企画課職員の指示に従います。
- ・資料撮影中は資料の破損汚損がないよう細心の注意をはらいます。破損汚損があった場合はその責めは撮影者が負います。
- ・写真を公開する場合は所有者名として「熊本県(文化企画課松橋収蔵庫)」と明示します。
- ・撮影した写真をこの申請内容以外で公開する場合は別途申請します。

様

熊本県企画振興部地域・文化振興局文化企画課長

文化企画課松橋収蔵庫資料貸出承諾書

平成21年7月14日付けで申請がありました資料の貸出については下記のとおり許可します。

記

- 1 貸出期間 平成21年7月14日～平成21年9月3日
- 2 貸出資料 別紙のとおり
- 3 その他
貸出前、貸出期間中であっても下記に該当する場合は、貸出許可を取り消すことがありますのでご了承ください。
(1) 申請内容が遵守されなかったとき。
(2) 申請内容以外の利用があったとき。
(3) その他資料の破損、汚損の恐れが高いと認められるとき。

(別紙様式 5)

文企第 号
平成 年 月 日

様

熊本県企画振興部地域・文化振興局文化企画課長

文化企画課松橋収蔵庫資料撮影及び撮影写真の公開承諾書

平成 年 月 日付けで申請がありました資料の撮影及び撮影写真の公開については下記のとおり許可します。

記

1 撮影日時 年 月 日 時～ 年 月 日 時

2 撮影写真の公開方法

3 撮影及び撮影写真を公開する資料

名 称	資料点数	備考

3 その他

撮影中、公開中であっても下記に該当する場合は、撮影及び公開の許可を取り消すことがありますのでご了承ください。

- (1) 申請内容が遵守されなかったとき。
- (2) 申請内容以外の利用があったとき。
- (3) その他資料の破損、汚損の恐れが高いと認められるとき。

(4) 熊本県文化企画課松橋収蔵庫の団体利用要項

(趣旨)

第1条 この要項は、学校又は社会教育関係団体等（以下「団体」という。）が熊本県文化企画課松橋収蔵庫（以下「松橋収蔵庫」という。）を博物館資料や文化企画課職員が持つ持つ専門的な知識や能力を活用して活動を行うため利用する場合の手続に関し、必要な事項を定めるものとする。

(利用の要件)

第2条 熊本県企画振興部地域・文化振興局文化企画課長（以下「文化企画課長」という。）は、団体から松橋収蔵庫の利用の申請がある場合において、当該申請が次の各号の全てに該当するときは、利用を許可することができる。

- (1) 利用の内容が、資料の収集・整理・保管、調査研究、展示又は学習支援など松橋収蔵庫が行う博物館活動に関係するものであること。
- (2) 松橋収蔵庫の日常業務に支障がないこと。
- (3) 営利を目的としないこと。
- (4) 政治的又は宗教的目的を持ってないこと。

(利用申請)

第3条 松橋収蔵庫の利用を希望する団体は、団体利用申請書（様式第1号）を利用する日の2週間前までに文化企画課長に提出しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、松橋収蔵庫の展示見学のみを希望する場合はこの限りではない。

(利用承認の通知)

第4条 文化企画課長は、前条第1項の規定による利用の申請の内容が適当と認められるときは、利用決定通知書（様式第2号）により申請者に通知するものとする。

附 則

この要項は、平成21年6月12日から施行する。

(様式第 1 号)

文化企画課松橋収蔵庫団体利用申請書

平成 年 月 日

熊本県企画振興部地域・文化振興局文化企画課長様

(団体の所在地)

(団体の名称)

(代表者氏名)

印

下記のとおり文化企画課松橋収蔵庫を団体で利用したいので申請します。

記

1 利用日時 平成 年 月 日 : ~ :

2 利用目的

・展示説明 ・資料を使った授業 ・体験学習

・その他 ()

3 内 容

4 利用を希望する施設 (該当するものを丸で囲んで下さい)

1 階ロビー ミーティングルーム 体験学習室

その他 ()

5 担当者の氏名及び連絡先

(氏 名)

(電話番号)

(E-mailアドレス)

5 打ち合わせの希望日時 (資料を使った授業、体験学習等文化企画課職員の 指導が必要な場合は必ず記入ください。)

6 その他 (要望事項等)

(様式第 2 号)

文企第 号
平成 年 月 日

様

熊本県企画振興部地域・文化振興局文化企画課長

文化企画課松橋収蔵庫団体利用決定通知書

平成 年 月 日付けで申請がありました文化企画課松橋収蔵庫の団体利用については下記のとおり決定しましたので通知します。

記

1 利用日時 月 日 時 分～ 時 分

2 利用場所

3 内 容

4 その他

(5) 学校・社会教育関係団体等への講師派遣要項

(趣旨)

第1条 この要項は、熊本県企画振興部地域・文化振興局文化企画課長（以下「文化企画課長」という。）が、熊本の自然や文化に関する専門的な知識能力、文化企画課松橋収蔵庫が収蔵する資料等を活用することを目的とする学校、社会教育関係団体等（以下「学校等」という。）からの依頼により、職員を講師として派遣する場合の手續に関し、必要な事項を定めるものとする。

(派遣の要件)

第2条 文化企画課長は、学校等から講師派遣の依頼がある場合において、当該依頼が次の各号の全てに該当するときは、職員を講師として派遣することができる。

- (1) 資料の収集・整理・保管、調査研究、展示又は学習支援など収蔵庫が行う博物館活動に関係するものであること。
- (2) 営利を目的としないこと。
- (3) 収蔵庫の日常業務に支障がないこと。
- (4) 学校等の所在地又は活動の拠点が本県内にあること。
- (5) 同一の学校等への派遣が同一年度において2回を超えないこと。
- (6) 派遣に要する職員旅費、教材費等の費用を全て学校等が負担すること。
- (7) 政治的又は宗教的目的をもってないこと。

2 前項の規定にかかわらず、文化企画課長が特に必要と認める場合は、学校等からの依頼の内容に応じて職員を講師として派遣することができる。

(派遣の申請)

第3条 学校等において、講師の派遣を希望する者（以下「申請者」という。）は、派遣を希望する日の2週間前までに講師派遣申請書（様式第1号）を文化企画課長に提出しなければならない。

(派遣の承認)

第4条 文化企画課長は、前条の規定による派遣の申請の内容が適当と認められる場合は、講師派遣決定通知書（様式第2号）により申請者に通知を行うものとする。

附 則

この要項は、平成21年6月12日から施行する。

(様式第 1 号)

講 師 派 遣 申 請 書

平成 年 月 日

熊本県企画振興部地域・文化振興局文化企画課長様

名称

所在地

代表者氏名

印

下記のとおり貴所属職員を講師として派遣してくださるよう申請します。
なお、講師の旅費については当方で負担します。

1 派遣日時 月 日 時 分～ 時 分

2 派遣場所

3 対象人数学年等

人 (年生・一般)

4 内容

5 派遣を希望する職員名 (特定されてない場合は記入不要です。)

6 担当者の氏名及び連絡先

(氏名)

(電話番号)

(E-mailアドレス)

5 打ち合わせ希望日時

(様式第 2 号)

文企第 号
平成 年 月 日

様

熊本県企画振興部地域・文化振興局文化企画課長

講 師 派 遣 決 定 通 知 書

平成 年 月 日付けで申請がありました講師派遣については、下記のとおり決定しましたので通知します。

記

1 派遣日時 月 日 時 分～ 時 分

2 派遣場所

3 内 容

4 派遣職員職氏名

5 その他

[文化企画課松橋収蔵庫のご案内]



所在地 宇城市松橋町豊福1695
電 話 (0964)34-3301
F a x (0964)34-3302

平成23年度熊本県松橋収蔵庫活動報告書

編集・発行 熊本県企画振興部地域・文化振興局文化企画課
熊本市中央区水前寺6-18-1
(069)333-2155
発行日 平成24年4月10日
